



「米」

過剰ぎみ

町内示数量一〇万六千俵

外することになっています。一方では米の消費拡大対策としては、米飯給食の拡充、各種啓蒙活動の強化、各都道府県段階に拡大した消費拡大運動の推進、良質米の出回り促進、米の新規需要の開発等により更に努力を傾注する方針であります。

本町では国県の方針に基づき地域の実情や、農業者の将来の農業経営に対する意向などを考慮して、転作の誘導を図ることに目標面積

の配分を行いました。一方関連施策である限度数量の配分については、転作実施を阻害しない範囲内で、本年産米稲作付予定面積を基礎として県の内示数量(うるち米一〇万六千二百三俵)の範囲内で計算し各生産者へ指示しました。もち米については別枠で町全体の限度数量二千八百四俵の範囲内で生産者と集荷業者間で売渡委託契約された数量を正式指示する予定であり、集荷業者と十

分連絡をとり円滑な売渡しができるように、ご協力をお願い申し上げます。

また優良銘柄米の作付確保についても、先般のチラシでお願いしてありますように、自主流通米三〇%以上の出荷についてご協力下さるよう、重ねてお願い致します。

なお五二年産米の事前売渡申込みに係る米代金の概算払については、前年の冷害等により被害を受けたことから、本年度限りの特例として支払時期が一ヶ月繰り上げられ六月一〇日から開始されることに内定し、これに伴う限度数量の正式通知も一ヶ月早まることになりましたので、受委託関係による限度数量の調整を五月中旬頃までに両者で決め、売渡申込みの際に申出下さるようお願いいたします。

青年農業士誕生

本町では初めて

県では、昭和四六年度から農業にとりくむ青少年が自信と誇りをもって、地域農業の中核者となるために、担い手に励みと希望を与え、社会的評価を高めることを目的として、新潟県青年農業士認定事業を行なっておりますが、このたび本町より小平方・白井法夫さん、黒鳥二・田沢正一さん、鳥原本村・山崎栄さんの三名が県の

きびしい審査にみごと合格し、新しく青年農業士として、地域農業の中核者として、第一歩をふみ出しました。

この青年農業士になる為には、一、現在農業に従事しており、将来も農業で自立を志向する者。二、専門に実践している部門についての高度な知識・技術と経営能力を有する者。

農家の若い後継者の皆さん、あなたも青年農業士として、地域の中核者となって農業の発展に貢献して下さい。その為に農業改良普及所、役場農政課がお手伝い致します。是非保までご連絡下さい。ここで新青年農業者からこれからの抱負を語ってまいりました。



山崎栄さん
認定された事によってその責任の重さを感じると同時に、これからの農業にさらに意欲が倍増する気持です。この事業には賛同する所が多く有りますので、多くの若い人達にも認定を受けてもらいたい。



田沢正一さん
このたび農業士の認定を受け、自分自身に責任を重く感じている農業士会の活発な活動を聞き、稲作部会に積極的に参加し技術、経営を学び中核農家の第一歩を歩みたい。



白井法夫さん
此度、農業士の仲間入りをし、農業士会の活動状況を聞いて、その活発ぶりに自己の心がひきまされる思いです。農業士の自信と自覚を持ち続け、自己の技術、経営を研ぎたいと思う。

参議員 新島良雄 土議員 浦又隆孝 市議員 石川正太郎

福祉号 今日も活躍



者ということから、平日は無料で時間は午前九時半から午後三時まで。日曜祭日の場合は原則として午前八時半から午後四時半まで若干の料金を納めていただきます。バス使用規程によれば利用する一週間前に役場厚生課に申込みことになっていますが、すでに身体障害者団体や、老人憩の家に行く老人クラブなどに利用され大変よろこばれています。

車体は白と若草色の線も鮮やかな明るくスマートなもので、町ではこのバスを運行することで、恵まれない人達に少しでも明るい福祉の光があたることを願っています。

春のそよ風をうけて今日も福祉バスが行く。

このバスは老人クラブをはじめ、身体障害者団体などが五年前から町に要望していたもので今回ようやく実現の運びとなりました。

そのおもな目的は遠隔地保育所児童の通園に使用されるものであるが、その空いている時間を福祉団体に開放します。

乗者定員は大人で二九人、子供なら約四〇人が乗れるデラックス型マイクロバスで、黒埼町「福祉

号」と名づけられ、児童福祉、老人福祉、母子福祉、精神薄弱者福祉など町内の広範な福祉団体に利用されるもので、四月三日から運行を開始しています。

料金は使用する人達が社会的弱者

の値上げを行ったこと、また供給管布設のための資材の値上げ、諸物価の高騰などで、このままの状態が続くと、本年度は四千六〇〇万円余の赤字が見込まれ、民間企業であればすでに倒産しているところではあります。

このようなことから過日の議会全員協議会の席上、料金改定値上げを産局へ申請するは、非が審議され同意を得たため、現在、申請書類を産局で検討中です。認可が得られれば議会の議決を経て、六月一日を予定に値上げとなります。

ご理解とご協力をお願いします

苦しいガス事業

広報一〇五号でお知らせしたように、ガス事業会計はすでに赤字財政に転落し、企業努力だけで財政の立て直しは、もはや限界にきております。

昭和四〇年二月、東邦天然ガスより原ガス供給を受け、公営企業として出発。今日まで年々安定して増え続けてきたガス需用と原料である天然ガスの購入価額が比較的低い条件であったことなどに支えられ、健全な経営を維持することができました。

しかし、今年一月生産者である東邦天然ガスが原料価額の三〇

の値上げを行ったこと、また供給管布設のための資材の値上げ、諸物価の高騰などで、このままの状態が続くと、本年度は四千六〇〇万円余の赤字が見込まれ、民間企業であればすでに倒産しているところではあります。

このようなことから過日の議会全員協議会の席上、料金改定値上げを産局へ申請するは、非が審議され同意を得たため、現在、申請書類を産局で検討中です。認可が得られれば議会の議決を経て、六月一日を予定に値上げとなります。

他市町村との料金比較表

事業者名	料金	認可料金	改訂率	改訂年月日
新潟市	54,180銭 (9,500銭)	55,180銭 (9,500銭)	40.77%	50.11.11
白根市	55,180銭 (10,000銭)	55,180銭 (10,000銭)	49.04	50.12.2
吉田町	58,139銭 (10,000銭)	58,139銭 (10,000銭)	46.43	51.1.9
分水	52,113銭 (10,000銭)	52,113銭 (10,000銭)	39.00	51.3.9
西川町	54,143銭 (10,000銭)	54,143銭 (10,000銭)	42.03	50.11.10
小須戸町	44,112銭 (8,700銭)	44,112銭 (8,700銭)	40.94	50.12.1
黒埼町	0~5㎡	6~50㎡	51~250㎡	251㎡以上
	3.50円	43円84銭	41円65銭	39円46銭

他市町村より まだ低い使用料金

新料金になると、一世帯月平均八〇立方メートルで試算すると、現行では二千七百三十三円が三千五百一十四円となります。しかし、他市町村と比較(表一参照)しますと、一立方メートルの使用料金は、まだ低いことがおわかり頂けると思います。公営企業は利潤の追求のみが目的ではありません。できるだけ低い料金で安定した供給を図るため、けん命の努力を続けていきます。

すでに「チラシ」で、ご存じかと思いますが、ガス企業会計の台所をお察し下さいまして、ご理解とご協力をお願い致します。

公認業者紹介

企業債未償還元金 (単位 千円)

年度	50	51	52	53	54
借入先					
大蔵省	42,933	86,108	92,162	90,087	87,875
郵政省	17,469	16,676	15,832	14,933	13,974
公営企業庫	32,846	119,615	132,691	128,768	124,845
計	93,248	222,399	240,685	233,788	226,694

佐藤設備備 代表 佐藤政一
大字鳥原字前川原三七六八一
電話七二六二八〇
五二年五月一日から町公認ガス水道工事店に指定

善意に感謝

黒鳥一 相田徳衛さん
黒鳥小へ図書券一万五千元
蓮方団地 太田圭介さん
拾得物の報労金二千五百円
を社会福祉協議会へ